

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議会議員団
824-1181
(内線2399)
FAX No. 824-7760
Email: jgccc@ccnet.or.jp
No. 1950

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

中林 かず子
宝町4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮155-8
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

日本共産党-市民アンケート

7割が市政に不満の評価

市民の願いは 国保・介護の軽減、福祉の充実

日本共産党市会議員 田中ひさ子(寝屋川市)に
ついて、市民アンケート
を作成し、アンケート
協力をお願いしていま
す。

連日、びっしり記入
されたアンケートが返
ってきています。8月
1日現在で、801通
です。

詳細な分析は、これ
からですが、いくつか
の意見とともに紹介し
ます。

★主人も朝から晩まで
まじめに働いている
が、給料はあがらない
んです。これも連にお
金はかかるし、出費は

かさむのに、国保料の
毎年の上げ率が多すぎ
て、私達低所得の者は
このままで生活でき
ません。こんなに高い
とこどもを育てられな
い。産む人数も減るの
では? (三十代女性)

★障害者福祉の作業
所、グループホームの
運営費が大幅に減額さ
れ、利用者負担が増え
ました。少しでも市で
補填していただきたい
です。少しでも市で
切望いたします。今
までは障害者に明日
はありません。(五十
代主婦)

★このアンケートをし
っかり反映してほし
い。日本共産党にたい
して、「与党にたいし
て、歳出削減や特別会
計の見直しを求めてほ
しい。(十九才以下
男性)

★馬場市長へ。駅前再
開発、関西西大の建て
かえに税金をつかって
ほしいと本当に市民が
望んでいると思ってい
ますか? 国保料の値下
げや、老人や障害者な
どの施設体制を整え、
夜間の小児科を増やす
など、もっとやるべき
ことがあるのではない
でしょうか? 厳しい
意見になりますが、寝
屋川はますます住みに
くい町になっていると
思います。町の表面だ
けきれいにするのでな
く、もっと市民の声を
聞いてみてはいかがで
しょうか? (二十代女
性 派遣)

	大いに満足	ある程度満足	少し不満	大いに不満	どちらとも
計	7	44	150	285	70
%	1.1	7.1	24.2	45.9	11.3

	国保介護保険軽減	高齢者障害福祉	水道料金下げ	教育子育て環境	ゴミ問題環境対策
計	434	368	310	272	212

	自然環境の保全	財政健全化	情報公開	まちづくり	災害対策
計	190	188	149	117	112

7月28日現在(671通での状況)



今年も、否応なく戦争に誘われる8月を迎えました。戦禍が続く中東の犠牲者の多くは、罪もない子どもや女性、お年寄りです▼日本がおこなったアジア太平洋戦争もそうでした。宣島在住の向江チツ子さんは、六十年間、胸の引き出しの奥に仕舞い込んでいた苦しみを書き残すことで、やまと「私の戦後」を終わらせました▼戦前、朝鮮半島は、日本の植民地下にあります。日本政府は、「土地調査」によって、ぼろ大な土地を取り上げました。十一年まで続けた慶尚南道の農村では、大地主だったと言います。欲しい物は何でも自分のものになる生活でした▼8月15日の敗戦を境に生活は一変します。いつ殺されるか。集団自決さえ覚悟した日々。避難した学校で、町の様子をじっと見ている先生が帰って来なかったら、親に殺されていたと言います。迎えるトラックが来て、家を離れる時、叔母の赤ん坊の泣き声が聞こえないことに気づきます。井戸を使うと強く母から言われた意味を理解します▼多くの人を死に追いやり、悲しみや苦しみを与える戦争や、その戦争を企むものを絶対に許すことは出来ません。同感です。

ドウマンション住民が 現状無視の計画見直しの意見

寝屋南土地区画整理事業 深刻な生活影響に批判の声

7月31日(月)、市まち政策部都市計画室が、市民会館で、8月30日に予定の府・市合同の都市計画公聴会に先立って、寝屋南土地区画整理事業に関する市民説明会を行いました。

事業計画地に隣接しているラウンドシティドゥウ香里南の住民から、二十年前に、440世帯に170台の駐車場しかない開発が許可された。管理組合の努力で、周辺に駐車

寝屋川市は充分な市民的検討を行え

市は、公園、農地などで緑を20%確保するとしていますが、現状より1ha以上の緑が失われることが明らかになりました。まちづくりのあり方をめぐって、開発優先から自然の回復・再生をめざす世論も広がっています。寝屋川市の計画は、こうした流れに逆行するものです。参加者からは、環境の悪化や交通の安全問題などが指摘されました。

日本共産党は、多額の税金を投入する公共事業であることから、市民的検討を呼びかけるものです。

に住んでいる住民には、何の相談もなく、まったく周辺住民を無視した計画ではないか、などの意見が出されました。

市は、ドゥウマンション住民との協議は続けると答えました。

非核平和のための 戦争・原爆展開かれる

7月29日(土)・30日(日)、市立総合センターで、今年も「非核・平和のための寝屋川戦争・原爆展」が開催されました。

夏休みということもあり、図書館の利用者や親子連れが、「原爆と人間展」パネルに見入る姿が目立ちました。



（被爆写真展に見入る親子づれ）

た。

日曜午後のプログラムでは、オープニングにアルパ(パラグアイ)とギター演奏。途中、ヘルマンハープの演奏があり、井上圭史実行委員長が

出張先の天津の地から、「いまや戦争に勝者も敗者もありません。」と、非核平和の

願いを込めて熱いメッセージを寄せました。

ブリッジごだまの皆さんが、川崎洋編の子ども詩、「世界を支配できたら」など6篇を朗読しました。

初町の西沢さんが、

長崎被爆の体験を、二度とあってはならないの思いをこめて、語りました。

最後に、「二老女の歩いて来た道」敗戦から日本に帰るまで」と題して、豊島在住の向江チツ子さんが、日本が植民地支配していた朝鮮から、戦後、逃避行のように山口県の仙崎にたどり着くまで

を、途中、叔母が抱いていた三ヶ月にもならない赤ん坊の泣き声が聞こえなくなった真相にふれながら、涙ながらに語り、参加者に深い感銘を与えました。

議員日誌



中谷
光夫

長い梅雨もようやくあけました。全国各地で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

夏休みらしく、少しはゆつくりできるかと思っていました。が、行事、ニュース配付、アンケート配布、ポスター掲示、集金などが重なり、暑さとの体力勝負の日々になっています。

法律相談

とき：8月18日(金) PM6:30~
ところ：寝屋川市民会館第3・4会議室
☎824-1181(内2399)

弁護士がご相談にのります。遠慮なくお越しください。
お問い合わせは市会議員団まで